

1時間目のとき、私は、中国のダム建設を認めるべきではないと考えた。でも、認める
と考えた人の理由を聞くと、認めるのもありかも...。と思った。確かに、自分
の国の経済が豊かになっただけではいけないが、下流国のことを考え、ダム
建設をするのだったら、いいと思った。だから、最終的には、ダム建設をしてもいい
が、下流国のことを考えないといけないという考えに変わった。

2時間目は、アフリカ州についていろいろなことを知った。もともと、貧しいという
イメージはあったけれど、「貧困」と「飢餓」という言葉の意味をくわしく知り
とても大変な状態だということが分かった。飢餓率35%以上の国が
10カ国近くあり、とてもおどろいた。

3時間目は、自分のほぞがとけた授業になった。95%以上が砂漠
なのに、豊かな暮らしができていくというのは、とても疑問に思っていた。重要
なのは、「ナイル川」だと分かった。そして、ナイル川は、いくつもの枝に分かれて
いることを知り、「かんがい農業」ができていくからだという理由が分かった。
また、市場の様子も、乾燥帯とは思えないほど、いろいろな食べ物が
あり、すごいなと思った。

4時間目は、資料を見て、理解し、エチオピアのことを色々知ることができた。
たくさん情報があり、その中でも、私は、「農業のやりかたの面」が気になった。
エチオピアとちがって、「かんがい」をしていないので、雨が降らなければ、生産できない
のでは?。と思った。それに、農業のやりかたの資料の写真をみると、面積1772011=

エジプトは植えているけど、エチオピアは土の質や時間があっていて、1つ1つ手作業で育てていることが分かった。それに加えて、「人口爆発」が起きているので、より深刻な状態なんだな...と感じた。

5時間目は、エチオピアの経済について学んだ。エチオピアは輸出品の半分近くが豆類で、エチオピアは、「モカルチャー経済」だということを知った。また、動画を見て、貧困や飢餓が多い理由がまた1つ分かった。私は、最初、生産量が少ないことが理由なのではないかと思っていて、動画を見て、価格が不安定だということを知った。それに、安くしか買ってもらえてないという現実を知り、心が痛く感じた。もう一つも高く買ってあげて、少しでも貧困や飢餓が減ってほしいと強く思った。

6時間目は、エチオピアのダム建設についてよく考えた。私は絶対に認めべきだと思った。今までの5時間の授業でエチオピアの深刻さを知ったからだ。いろんな問題を考える前に、まず、貧困と飢餓を

なくすべきだ"と思った。逆に認めないという人は、いるのかな?とも思った。

7時間目は、クラス内でたくさん意見を話し合っ、いろんな考えがあって、とてもおもしろかった。6時間目のときは、認めないという意見はなくていい!と聞いていたくらいでしたが、エジプトやスーダンの人たちの命も関わっていることに気がつき、認めないという意見も、成立するんだと気がいった。

でも、私は、「認める」という意見のままだ。理由は、今貧困や飢餓で

苦しんでいる人々を、第一に考えます。その人々が、最低限の生活が
できるようにするべきだと思い、ダムを建設するとエジプトやスーダンに
いく水が0にはならないからと。

この単元を学ぶ前と学んだ後では大分気持ちがいいがある(時間目から、
7時間目まで、最高の授業だったと私は思った。

今回の学びは私にとって、知らなかった他の国の現実を知る機会に
なりました。私は、今回の単元に入る前は、アフリカ州のことを、何にも知ら
なかった。「人口」、「気候」、「農業のやりかた」で、自分たちの生活が
変わるなんて、全く思ってもいなかったし、「貧困や飢餓」について、
考えることもなかった。でも今回の単元を終えて、たくさんのお話を
学んだし、たまたま、知識を身につけただけでなく、そこで暮らしてい
る人たちのことを毎回、考えることもできた。だから、認めろ、認め
ないを考えると、やっぱりとそう言える理由も持ったことか
できました。クラスの中でたくさん話して、考え方が変わったり、新しい
見方を知ったりして、本当のおもしろい授業とは違うことか!!と
思ったりもした。今回の単元「アフリカ州」は、今の自分にとって、
将来の自分にとってとても価値のあるものとなりました。それから、社会の
時間の1つを大切に新しい単元でも、深いところまで考えて、
いろんな考え方をクラスの人たちから学んで、社会の時間をよりよいもの
にしたいと思っています。